

大会名称: 平成28年度
第69回四国高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 5 男子 1回戦

期 日: 2016(H28)年6月18日(土)

主審: 岩井 仁志

開始時間: 12:00

副審: 石川 賢司

終了時間: 13:30

<p>鳴門渦潮</p> <p>(徳島1位)</p>	<p>○</p> <p>59</p>	<p>12 - 15</p> <p>17 - 8</p> <p>12 - 18</p> <p>18 - 17</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>58</p>	<p>東温</p> <p>(愛媛4位)</p>
---------------------------	--------------------	---	--------------------	-------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	栗村 和瑛	3	1	0	0	0
5	*	富永 凌也	0	0	0	0	2
6		濱口 貴哉	6	1	1	1	4
7	*	池北 凌大	10	2	2	0	1
8	*	板東 俊兵	16	4	1	2	2
9		多田 亘	5	0	2	1	4
10		中野 星河	—	—	—	—	—
11		藤川 泰地	2	0	1	0	1
12		大和 稔季	—	—	—	—	—
13	*	森 瞬也	1	0	0	1	3
14		井上 涼介	8	0	3	2	1
15		赤葉 玲音	8	0	3	2	0
16		黒川 翔矢	—	—	—	—	—
17		坂東 正義	—	—	—	—	—
18		川本 健太	—	—	—	—	—
HC		柏原 琢磨 / TEAM					—
		合計	59	8	13	9	18

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	入江 直斗	7	1	1	2	1
5	*	福島 秀佑	6	0	2	2	2
6		松岡 空良	3	1	0	0	2
7		森 亮太	8	0	4	0	3
8	*	大野 侑介	28	1	11	3	3
9	*	横山 祐	2	0	1	0	2
10	*	竹内 優成	4	0	2	0	2
11		白石 貴香斗	—	—	—	—	—
12		田村 綜一朗	—	—	—	—	—
13		田中 謙伍	—	—	—	—	—
14		窪添 晃希	—	—	—	—	—
15		山口 将舞	—	—	—	—	—
16		山岡 飛輝	—	—	—	—	—
17		日野 龍弥	—	—	—	—	—
18		山本 伊織	—	—	—	—	—
HC		對尾 圭三 / TEAM					—
		合計	58	3	21	7	15

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第1ピリオド、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで開始。東温は#8が攻守に渡って活躍し、試合の主導権を握る。それに対し、鳴門渦潮はドライブインから相手のファウルを誘い、フリースローで得点を重ねていく。鳴門渦潮#9のプザービーターが決まり、12-15で終了。
 第2ピリオド、開始5分は両チームとも積極的にシュートを狙うが、成功率が低く得点を伸ばすことができない。残り5分、鳴門渦潮は#8の3Pで逆転に成功する。さらに#8の3Pやドライブインから点差が開き始めたところで、東温がタイムアウトをとる。しかし大きな変化はなく29-23で前半終了。
 第3ピリオド、東温はゾーンディフェンスに変更し、反撃を試みる。しかし、鳴門渦潮の3Pが決まり、なかなか流れ掴むことができない。9点差となったところで東温タイムアウト。その後、東温は#4の3Pを起点に、点差を3点差まで詰め寄る。今度は鳴門渦潮がたまたまタイムアウトをとるが、終了間際に、東温#6の3Pが決まり、同点で終了。
 第4ピリオド、序盤は両チームとも得点を伸ばすことができない。5分を過ぎ、鳴門渦潮は#6、#8の3Pを中心に点差を広げる。それに対し東温は、#4、#8のドライブインで対抗し食い下がる。その後、シーソーゲームとなったが、残り30秒で鳴門渦潮がリードを奪い、その後の東温の反撃をしのぎ、逃げ切る形で勝利した。最後に鳴門渦潮の勝負強さが光った試合だった。

担当者: 竹林 和哉 (愛媛県バスケットボール協会)

四国高等学校体育連盟・愛媛県教育委員会・四国バスケットボール協会

